



重要施策は

答

5点を中心に

問

農本規仁

24年度予算編成に向け、大石町政の重要施策は何か。

答

町長

自然と共生した魅力と活力のあるまちづくりには、
・農林業を中心に地域経済の活性化
・行財政の健全化
・生活環境の充実
・健康福祉の充実
・子育て支援、教育環境の整備
以上5点を中心に、新庁舎建設、中学校再編、デイサービスの建設を重点に取り組む。

問

農本

団体への補助金交付は、合併支援措置が終わる33年までといわず、段階的に減額なりの方針を町が示すべき時期ではないか。

答

町長

団体に決算書を提出してもらい、収支状況や活動状況も考慮して、内部留保額が多い場合削減することもある。

今後は全体的な見直しを行い、各団体と連携協議して補助金に頼らない組織づくりや、必要最小限で運営管理できる体制の構築に向け、町としての人的サポートの充実など検討していく。

問

農本

補助金に頼らない体質づくりには、町の指導も必要では。

答

町長

いつまでも補助金ありきでなく、少しでも早く自立してもらう方向で取り組む。



今日は何を持って来た



地域の野菜

全町に集荷所を

答

前向きに

問

農本

フードプランが仁淀地域へ野菜の買い取りに来るようになり、好評だ。全町で広めるには、人材の発掘、育成、販売の拠点となる施設が必要と考えるが。

答

町長

現在、仁淀地域で37人が利用している。吾川、池川地域にはいないが、

池川の2団体から問い合わせがあり、町内全域での庭先集荷の仕組みづくりができつつあり、全町へ広め生産者の耕作意欲の向上につなげていく。
拠点となる施設整備は既存施設を活用していき、場合によって改修や拡大も考え、運営組織の体制づくりが重要で、早急な対応は難しい。
しかし、高齢者の生きがいづくり、耕作放棄地の解消にもつながるので、前向きに取り組む。



評価額での売却は

答 不可能

土地、建物は森林組合と入り組んでおり、機械装置は耐用年数を過ぎ、この値段での売却は不可能と考える。

答

片岡副町長

15億円の巨費（税金）を投じた「（株）ソニア」は破たん寸前で、多くの社員を解雇した。残された資産（土地、建物、車両、機械装置など）の評価は、6億7千万円余りとも言われているが、その評価額で売却できるのか。

問

西森常晴

分庁方式は

答

支所の充実

問

西森（常）

内子、五十崎、小田町の3町が合併して、新内子町ができた。旧小田町（人口3500人）は支所になっていて、職員は8人で十二分に機能している。

本庁方式をとった場合、池川、仁淀支所の職員は、現在の半数以下となる。土居、森地区の疲弊が懸念されるが、分庁方式を再考する気はないか。

答

町長

支所機能の充実を図り、活性化も考えていく。

し尿、ゴミを農地に

答

対応する

問

西森（常）

し尿、ゴミを農地に還元する方策は取れないか。宮崎県の綾町は1988年から、徳島県の上勝町もゴミの分別収集を行い、一定の成果を上げ町のブランド化に成功した。

答

大野産業建設課長

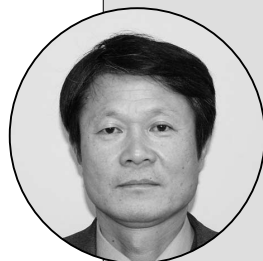
有機農業は安心、安全の野菜作りにつながり、土作りは大事だ。町単独では厳しいところがあるが、関係機関と連携を密にして対応していきたい。



森地域



野菜畑



補助団員に

答 再入団を

と同じ活動をするのか。

問 藤野格昭

高齢化が進み、若者も少なくなっている。若者は地区外に仕事に出て、いざ、災害のときに合わない。

消防団OBに補助団員となってもらい設備の使用、怪我の補償はできないか。

答 町長

一つの組織として指揮系統が図れる基本団員を募集していくとの方針が決定されている。

地元分団とOBと協議し再入団の検討をしたい。

問 藤野

再入団となると、団員

答 岡崎総務課長

同じ活動をしなないと一つの組織として成り立たない。

問 藤野

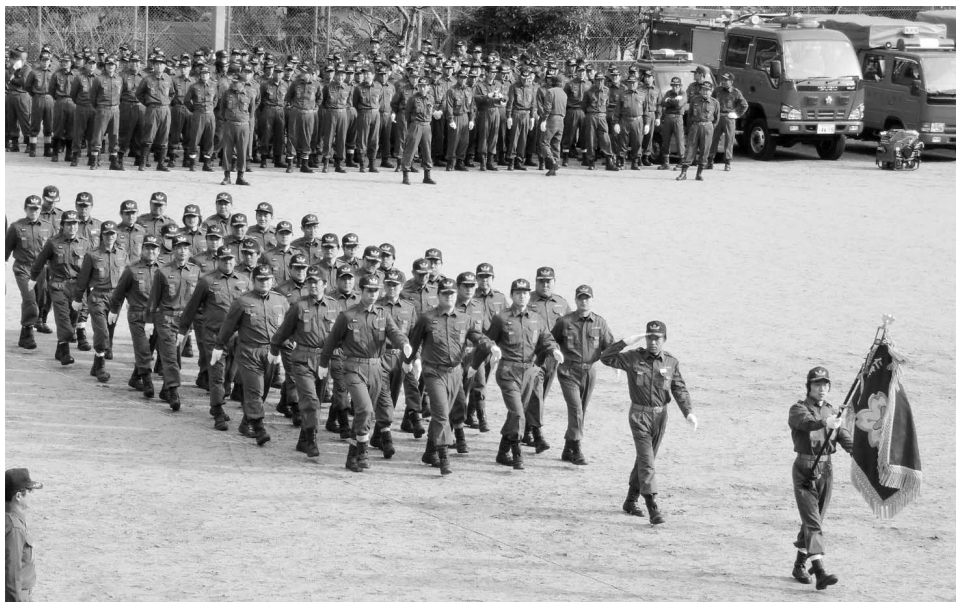
再入団ではなく、機員だけでも使えないか。

答 総務課長

地元分団が了承すればできるが、補償はない。団員として活動。

答 町長

消防団の協議会の中で、機能別分団も検討していく。



出初式（24年1月22日）

中学校1校に

2校体制で

答

問 藤野

9月定例会で中学校再編は、池川・仁淀の2校案が出された。

中学校が残る仁淀、池川と無くなる吾川では温度差がある。

クラブ活動など子供のことを考えると、1校がいいのでは。

答 町長

新しい校舎を建設して学校環境を整えることが理想の姿。

南北に長い本町の中央部に、吾川中学校があるが、台風や大雨のたび

問 藤野

校舎も30年が経過し、建て替えの時期も近づいている。

その段階で1校にする考えは。

答 町長

2校案で、将来につなげる方向で取り組む。

問 藤野

クラブ活動ができなくなると、2校合同でクラブ活動を考えるとの教育長の話もあったが、クラブ活動を求め、町外に出る子供もいる。

将来的に1校の考えは。

答 町長

2校体制で将来に向けていきたい。